



# ものづくり

区分	番号	名称	教室名	応援団での活用	ページ
遊び道具系	飛行系	1 竹トンボを作って遊ぼう	新座市 新座っ子ばわーあっぷくらぶ「森の子くらぶ」	○	2
		2 紙トンボ	坂戸市 三芳野・勝呂げんき教室	○	3
		3 紙コプター	富士見市地域子ども教室「みずほ台わくわくエリア」		4
		4 紙コップロケット	富士見市地域子ども教室「みずほ台わくわくエリア」		4
		5 手作りペットボトルロケット	熊谷市放課後子ども教室「桜木っ子ふれあいじゅく」	○	5
		6 ダイヤ型連凧	蕨市立中央小学校区放課後子ども教室	○	6
	鉄砲系	7 竹の水鉄砲	蕨市立中央東小学校区放課後子ども教室		8
		8 竹の水鉄砲づくり	上里町放課後子ども教室「のびっ子教室」		9
		9 水鉄砲	久喜市放課後子ども教室「おばやしゆうゆうプラザ」	○	10
		10 割り箸鉄砲を作ろう	横瀬町放課後子ども教室		11
		11 洗濯ばさみ鉄砲	北本市放課後子ども教室		12
	その他	12 竹を伐って竹ポックリを作ろう	新座市 新座っ子ばわーあっぷくらぶ「森の子クラブ」	○	13
		13 手づくりジグソーパズル	北本市放課後子ども教室		14
		14 牛乳パックのへび	小鹿野町立両神小学校いきいき教室	○	15
		15 カラフル変形コマ	小鹿野町立長若小学校子どもいきいき教室	○	16
		16 8の字かざぐるま	深谷市 明戸小がんばル〜ム	○	17
		17 釣堀	富士見市地域子ども教室「みずほ台わくわくエリア」		17
		18 紙皿づくりと皿回し大会	さいたま市 向小チャレンジスクール「ひまわりっ子わくわく教室」		18
生活用品系	19 ゆびあみ	富士見市地域子ども教室「ふじみ野遊びーズ」		19	
	20 エコバック作り	杉戸町立杉戸第三小学校放課後子ども教室		19	
	21 新聞でエコバックを作ろう	東松山市放課後子ども教室「パステルKids」	○	20	
	22 新聞紙で作る手さげバッグ	久喜市放課後子ども教室「栗くりゆうゆうプラザ」		21	
	23 エコクラフトで編む『わこうっち』	和光市放課後子ども教室	○	22	
かざり・アクセサリ系	24 工作(レター差し、表札など)	久喜市放課後子ども教室「さくらっ子ゆうゆうプラザ」	○	23	
	25 スチロール工作	上里町放課後子ども教室「のびっ子教室」		24	
	26 壁掛け(オブジェ)	東松山市放課後子ども教室「わくわくbluebird」		25	
	27 牛乳パックキュービック	行田市北小わくわくクラブ	○	26	
	28 折込チラシでつくる蝶のかざり	久喜市放課後子ども教室「栗くりゆうゆうプラザ」		27	
	29 世界で一匹オリジナル タオルで作る犬のぬいぐるみ人形	新座市 新座っ子ばわーあっぷくらぶ「遊びのたからばこ」	○	28	
	30 折り紙教室	熊谷市放課後子ども教室「奈良っ子ふれあいメイト」	○	29	
	31 折り紙教室	幸手市放課後子ども教室	○	30	
	32 折り紙ブローチ	富士見市地域子ども教室「みずほ台わくわくエリア」		30	
	33 プラ板	富士見市地域子ども教室「レインボーキッズ針ヶ谷」		31	
	34 プラ板アクセサリ	ふじみ野市放課後子ども教室	○	32	
	35 ペットボトルキャップの飾り付け	川口市放課後子ども教室「戸塚南どれみふぁ広場」	○	33	
	36 スイーツデコ教室	杉戸町立杉戸第二小学校放課後子ども教室	○	34	
	37 ビーズアクセサリ作り	さいたま市 大谷口小学校「大谷口けやきっ子クラブ」		35	

		応援団での活用	○
分類	ものづくり	所要時間	90分
名称	竹トンボを作って遊ぼう	所要人数	20人～40人 1グループ5～6人
活動場所等	緑地等		
おすすめポイント	①切り出しナイフの使い方が身に着く ②竹トンボの仕組みが分る ③最後にものを作った達成感が得られる		
準備する物	竹トンボの材料 羽根用の竹: 外皮と内皮を取って長さ幅と厚みをある程度加工して揃えたもの 軸用の竹: 外皮を残した四角で羽根の大きさに対して軸の長さに必要な長さより2～3cm長めのもの 切り出しナイフ 人数分 三つ目錐 各班1本		

#### ◆内容(作り方、遊び方等)

最初に切り出しナイフを使うときの注意

- 1) ナイフを持った手のそばに人がいないことを確かめる。
- 2) ナイフを持った手のひじは横腹にくっつけた状態で使う。
- 3) 使わない時は必ずさやに入れておく。

羽根の作り方

- 1) 羽根の中心、軸を取り付ける穴をあける位置を決めて印を付ける。
  - ① 中心と思われる位置にしるしを付ける。
  - ② 軸用の竹の先端を印の位置に合せ、羽根の端の位置に親指の爪を当てて動かさないように固定する。
  - ③ 羽根の反対側の端に、固定した親指の爪を当て、軸用竹の先端の位置に印する。
  - ④ 竹の先端の位置が一致したら、そこが長さ方向の中心
  - ⑤ 軸用竹の先端の位置が一致しないときは、2つの印のまん中が羽根の長さ方向の中心の位置になる。
  - ⑥ 長さ方向の真ん中と幅方向の真ん中の位置が軸の穴の位置になる。



さあ、仕上げだ!!

- 2) 見本の竹トンボをよく見て削る場所を確かめる。
- 3) 削る場所は4か所あるので、1か所ずつ丁寧に削る。
- 4) 切り出しナイフの刃を余り深く切り込まないように、うすくゆっくり削る。
- 5) 羽根のかたちが出来たら、錐で軸を取り付ける穴をあける(共同作業)。
- 6) 軸を作る。

- ① 材料の竹の半分から先の方の角を1か所ずつ少しずつ削って丸くする。
- ② 羽根にあけた穴に入るくらいまで削ったら穴に入れてみる。
- ③ 穴に通る部分を少しずつ長くしていき、最後の2cmくらいは残す。
- ④ 残った軸の部分を少しずつ削り最後は穴にきつく押し込む。
- ⑤ 軸が羽根に対して曲がっていないか2方向から確かめたら出来上がり。

7) 飛行開始

- ① 両手の手のひらで軸をはさんで垂直に持ち、右手の指先を左手の指先から10cmくらい手前に引く。
- ② 左手は動かさず、右手のみを前に擦り出す(これは右利きの人の場合)。
- ③ 羽根は自分の顔の方に向けないように注意する。



ブルーシート屋根から出て、選手集合! よーいして!!



あっ飛んだ!

#### ◆工夫したところ

- 1) 軸の位置が大ききずれないように、羽根の中心の位置決めは慎重にした。
- 2) 軸を削る時に、削り過ぎないようにナイフの刃を立て過ぎないように注意した。
- 3) 軸を押し込む時にゆるくなってしまった場合は削りくずを挟んでしっかり押し込むことを教えた。
- 4) 飛ぶ距離、高さ、滞空時間などの班対抗等競争をしてゲーム性を取り入れて遊んだ。

#### ◆児童等の感想

- 1) 羽根を削る時、どうしても先の方を削り過ぎて細くなってしまったが飛んで良かった。
- 2) 軸を削り過ぎてしまったので作り直して大変だったけど最後に飛ばせてうれしかった。
- 3) ナイフで削る時、左の手(親指)が痛くなって、うまく削れなかった。
- 4) 初めて自分で作った竹トンボが飛ばせて嬉しかった。

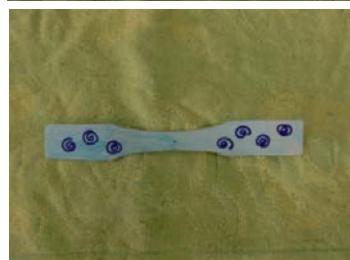
教室名	新座市 新座っ子ばわーあつぐらぶ「森の子くらぶ」
-----	--------------------------

応援団での活用 ○

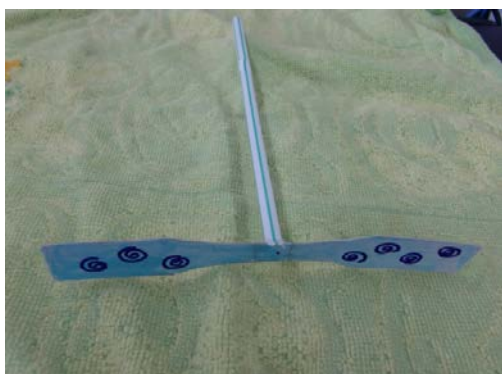
分類	ものづくり	所要時間	5分
名称	紙トンボ	所要人数	1人から
活動場所等	空き教室等		
おすすめポイント	簡単にできて楽しめます。		
準備する物	厚紙、ストロー、はさみ、ホチキス		

◆内容(作り方、遊び方)

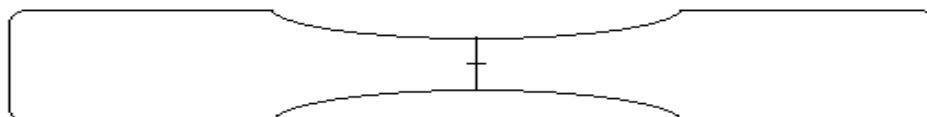
- ① 厚紙で羽根の型を作る。オリジナルの絵を描くと楽しい。
- ② ストローの先を4つに切る。
- ③ 切った先を折り、羽根をホチキスでとめて出来上がり。
- ④ 竹とんぼのように両てのひらでまわして飛ばす。



できあがり!!



型紙



◆児童等の様子

ロングランの人気です。羽根を複数つけて遊んでいる子どももいます。

教室名	坂戸市 三芳野・勝呂げんき教室
-----	-----------------

		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	10分
名称	紙コプター	所要人数	1人～
活動場所等	空き教室等		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 短時間でできること。</li> <li>・ 学年に関係なく楽しめること。</li> </ul>		
準備する物	紙コップ・割り箸半分・輪ゴム・ボンド・色を塗るもの		
◆内容(作り方、遊び方等)			
① 紙コップの飲み口の方から等間隔(1cm～2cmくらい)で切る。			
② 割り箸の上部1cmの部分にボンドを塗り、その下に輪ゴムを巻く。			
③ ボンドが乾く前にその割り箸を切り口を作った紙コップに下から差し込む。			
④ ボンドが乾いたら竹とんぼを飛ばすように手をすり合わせて飛ばす。 ※ 絵・色付けをするのは、はじめか終わりが良いと思う。			
◆工夫したところ 割り箸とコップの固定			
◆児童等の感想 きれいにぬれた。			
教室名	富士見市地域子ども教室「みずほ台わくわくエリア」		

		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	5分から
名称	紙コップロケット	所要人数	1人から
活動場所等	体育館等		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 簡単にできること。</li> <li>・ 短時間でできること。</li> </ul>		
準備する物	紙コップ2個・輪ゴム		
◆内容(作り方、遊び方等)			
① 紙コップの口側に4箇所切り込みを入れる(2mm～10mm程度)。			
② 輪ゴムを十字にひっかける。			
③ もう一つの紙コップを後ろ側にかぶせる。 このとき両手で持ち、下まで押さえて同時に手を離すと紙ロケットが高く飛ぶ。			
◆工夫したところ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作り上げてから、紙を貼ってロケットにした。</li> <li>・ 一番高く飛ぶコンテストを実施した。</li> </ul>			
◆児童等の感想 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 簡単にできて楽しかった。</li> <li>・ いろいろなロケットができた。</li> </ul>			
教室名	富士見市地域子ども教室「みずほ台わくわくエリア」		

分類	ものづくり	所要時間	180分
名称	手作りペットボトルロケット	所要人数	20人～
活動場所等	製作:室内 発射体験:学校の校庭や公営のグラウンド、河川敷等の広い場所		
おすすめポイント	形や構造、色をくふうさせたり、飛距離を競ったりすることで子どもたちは大変意欲的に取り組みます。		
準備する物	1. 5Lペットボトル5本、ビニールテープ、幅広両面テープ、市販キット(ウレタントップ、噴射ノズル、発射台)、ハサミ、カッターナイフ、ステプラー、空気入れ、ペンチ、定規、水桶		

◆内容(作り方、遊び方等)

(ロケット作成)

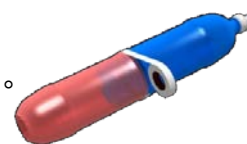
- ① ダミータンクの作成:ペットボトルの上部と下部を切り離す。



- ② エンジンタンクの作成:噴射口を取り付ける。



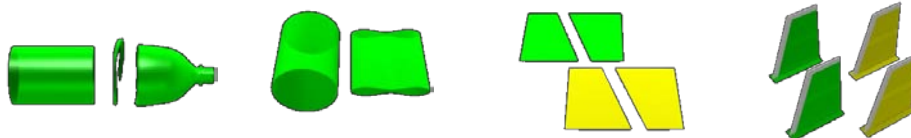
- ③ ダミータンクとエンジンタンクを取り付け、ビニールテープで貼り合わせる。



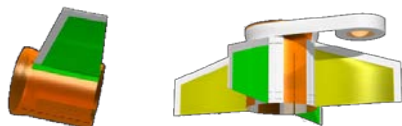
- ④ ウレタントップを取り付ける。



- ⑤ はねの作成:ペットボトルの上部と下部を切り落とし、平らにつぶして図のように切り取る。  
両面テープ、ビニールテープ等で貼り合わせ、図のようなはねを4つ作成する。



- ⑥ スカートの作成:ペットボトルを切り取り、はねを取り付ける。



- ⑦ スカートを本体に取り付けて完成。



(発射体験)

- ① グラウンド等の広い場所にて、市販の発射台に接続して発射させる。
- ② 発射台は複数用意し、グループに分かれて体験させる。
- ③ 発射するときには、その先に人がいないか十分確認させる。
- ④ 発射させたロケットを回収するときには、安全に十分注意させる。

◆工夫したところ

- 色マジックを使って、デザインさせるとよい。
- はねの形も工夫させることができる。

※日本ペットボトルクラフト協会 インターネット支部  
<http://www.pcaj-i.jp/index.html>

◆児童等の感想

- ペットボトルは切ったりする作業が大変だったけど、がんばって作ったからたくさん飛んだ。メチャメチャうれしかった。
- ペットボトルロケット大会で「きれい賞」がとれてうれしかった。
- 友だちと飛距離を競うのが楽しかった。

教室名	熊谷市放課後子ども教室「桜木っ子ふれあいじゅく」
-----	--------------------------

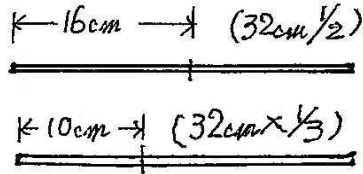
		応援団での活用	○
分類	ものづくり	所要時間	60分～90分
名称	ダイヤ型連凧(縦横32cm程度)	所要人数	スタッフ10名 生徒60～80名
活動場所等	教室、校庭(凧あげ)		
おすすめポイント	唯一無二の各人1枚の凧を作ること、チーム連凧として完成。(予算4～5千円/100枚)		
準備する物	平竹ひご、薄い紙又はビニール、接着剤、木綿糸、タコ糸、きり、糊		
◆内容(作り方、遊び方等)			
1. 作り方 (別紙イラスト 参照)			
1) 竹ひご、長さ32cmを2本準備し、1本を端より10cmにマーク、2本目を16cm(1/2)にマーク			
2) 2本のマークの場所に速乾強力接着剤をつけ十字架をつくる(90度の直角を維持) (補強の為、十字部分を糸で縛る)			
3) 横骨の竹ひごの両端5mm程度の場所と、十字部分縦骨のすぐ下にキリでアナをあける。 (縦骨の穴は凧を繋げるときに必要となる)――アナあげ難しいところ。			
4) 横骨竹ひごを弓のように曲げる為、アナの片方に糸を縛りつけ、ひごを曲げながらもう一方に縛り付ける(凧の風きを良くする為)。――難しいところ。			
5) たこの骨格にダイヤ型にカットした紙(又はビニール)を貼る。(下記の型紙を作るとカットが容易) (上部は20cmの二等辺、下部は27cmの二等辺、中央は32cmのダイヤ型)			
6) 乾いたら中央のアナにタコ糸を通し凧が移動しないよう通した糸を凧の前後でチチ輪を作る。 最後に足(70cm程度)をテープで貼り付ける。			
7) 連凧にする場合には各凧の中央のあなにタコ糸を通しチチ輪で止め、繋げる。			
* 子ども達には難しいので骨格作りはスタッフが準備、子ども達には凧紙へのデザインと貼り付け作業をする。(スタッフは苦勞します)			
* 連凧のキットがありますので購入手配も良いと思います。 特にカーブをつけた十字部分がプラスチックになっており、丸ひごを差し込むだけで骨格が出来上がり。凧紙はビニールでカット済みで子どもたちにも簡単にできるもの。			
2. 遊び方			
1) (風のある日が前提)・個人で遊ぶ、連凧として遊ぶ。			
2) 早く揚げられたチーム。			
3) 10枚の連凧を揚げてみる(何枚まで揚げられるか?)。			
◆工夫したところ			
・ 丸ひごを予定したが十字部分の作成が難しいので平ひごを利用。			
・ 横骨を曲げるところ(曲げながら縛る)			
・ ひごにキリを使うところ。(竹ひごが割れやすいが、接着剤で止めれば、影響は少ない)			
* 注意点 校庭の広さを考えタコ糸の長さを調整する。 近隣の障害物を事前に確認。			
◆児童等の感想			
・ 自分の凧が揚がってうれしい。			
・ もうすこしきれいな絵にすれば良かった。			
・ 蛇のようだね、龍だよ。			
・ もっと遠くにまで飛ばしたいな。			
教室名	蕨市立中央小学校区放課後子ども教室		

(夕仲型連凧)

別紙

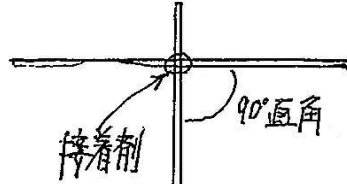
作り方

1.

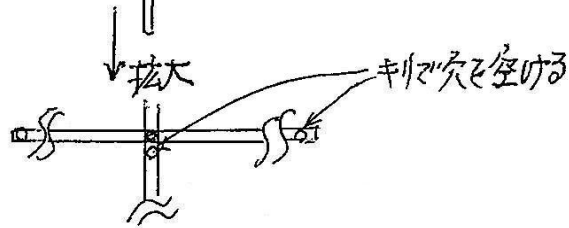


平竹ヒコ (2本)  
(0.2cm x 0.4cm x 32cm)

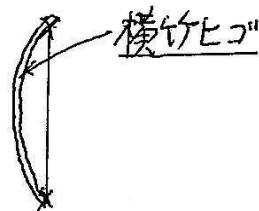
2.



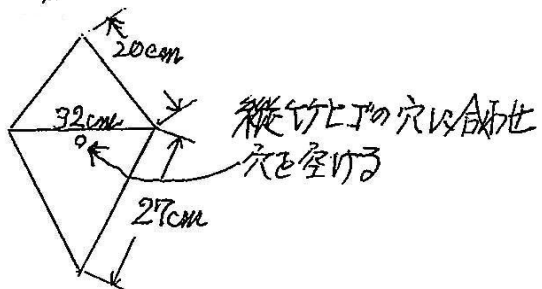
3.



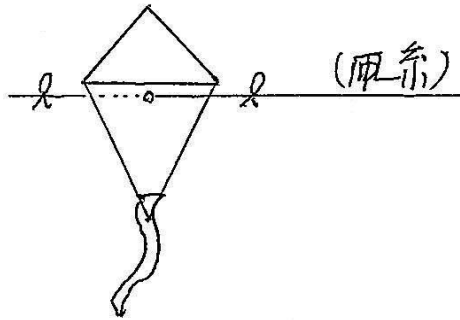
4.



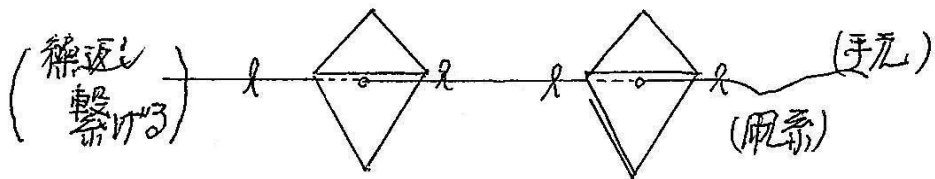
5.



6.



7.



		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	20分～30分
名称	竹の水鉄砲	所要人数	何人でも(1グループ10人以下)
活動場所	作業のできる室内及び校庭などの屋外		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 短時間でできる。</li> <li>・ 学年に関係なく遊べる。</li> <li>・ 昔遊び体験ができる。</li> </ul>		
準備するもの	竹(本体と押し出し棒)・スポンジ・布・両面テープ・輪ゴム・タコ糸・錐・家庭用プール・バケツ (竹は竹細工店などで購入も可@140程度)		

#### ◆内容(作り方・遊び方)

- ① 竹の押し出し棒の方に幅3センチ程度に切ったスポンジを2回ほど巻く。  
このときスポンジの裏に両面テープを貼っておくと楽である。
- ② この上から布を巻きタコ糸もしくは輪ゴムでしっかりと縛る。
- ③ 本体の竹の節の部分に錐を使って穴をあける。
- ④ ③の竹に②で作った棒を差し込み、思いっきり引きぬく。  
このときスポンジと響くいい音がすれば合格。音が鈍い、またはゆるくて音がしない場合は布を解きさらにスポンジを巻いて、太さを調整する。
- ⑤ 出来上がった子は水遊び開始！  
遊び方は、貯めておいた水は吸い上げて使うことを教えること。  
上から水を入れてしまって錐で開けた穴から出てしまうことがあるので。
- ⑥ 途中でスポンジがとれてしまうことがあるので、その場合も①②を再度行います。
- ⑦ ペットボトルに点数などを貼りつけた的を作り、競争をするのも楽しいですよ。



#### ◆注意点

- ・ 確実に洋服が濡れます。事前に保護者の方にはお手紙などでお知らせを出しておいた方がいいと思われる。
- ・ 学校側にも校庭で水を使うことを伝えておきましょう。



#### ◆児童の感想

- ・ 竹で水鉄砲が作れるとは知らなかったのがびっくりした。皆に自慢する。
- ・ 錐を初めて使った。先がとがっているので緊張したけど、楽しかった。来年もやりたい。

#### ◆スタッフの感想

- ・ 保護者から洋服が濡れるとクレームが来るかと心配したが、楽しく遊ぶ子供たちを見ていたらやってよかったと思った。
- ・ 手先が器用な子が少なくなったような気がする。

教室名	蕨市立中央東小学校区放課後子ども教室
-----	--------------------



		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	60分
名称	竹の水鉄砲づくり	所要人数	特になし
活動場所等	室内、外		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔ながらの遊びを教えることができます。</li> <li>・学年(年齢)に関係なく楽しめます。</li> </ul>		
準備する物	先端が細く先に節がある太い竹(筒)、両端に節がある細い竹(柄)きり等の穴を開けられるもの、楊枝、輪ゴム、布、小さいビニール、空のペットボトル		

◆内容(作り方、遊び方等)

(作り方)

- ① 柄となる細い竹の先端(節より手前)に、きりで小さな穴を2箇所開け、貫通させる。
- ② ①で開けた2つの穴に楊枝を通し、穴から少し飛び出る程度の長さの楊枝をカットする。
- ③ ②の楊枝に布(スポンジでも代用可)を引っ掛けるようにきつく巻き、外筒の竹の太さに合うよう調整する。
- ④ 布を輪ゴムで簡単に留め、ビニールを被せたら、ビニールの口を輪ゴムできつく留める。
- ⑤ 外筒の節に水の放出口となる穴を開けたら完成。

(遊び方)

- ① 適量の水をいれたペットボトルを的にする。
- ② ペットボトルの水の量を増やすことで難易度を上げていく。
- ③ 的倒しが終わったら、みんなで打ち合いをする。

◆工夫したところ

- 布の上にビニールを被せることで、簡単に布を留め、筒の中の滑りをよくしました。
- 初めて竹の水鉄砲で遊ぶ子どもには、狙い通りに水を出すことが難しいようなので、簡単な的から難しい的までを用意した。そこから、徐々にコツを掴んでもらい、思うように水を飛ばして遊べるようにしました。
- 洗濯ばさみと糸を用いて、的をぶら下げることもできます。
- 大人が的になることで、子どもたちは夢中になって遊んでいました。

使用した竹と楊枝と布



先端に穴を開けた柄になる竹



布を巻いた柄になる竹



ビニールを被せる

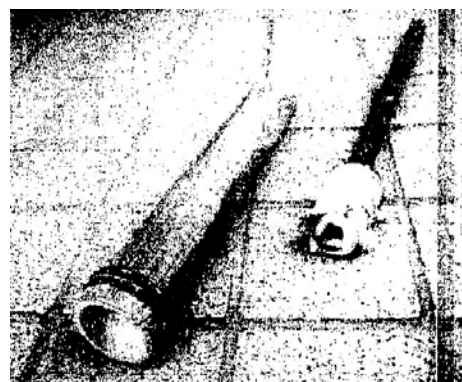


外筒の節に穴を開ける



教室名 上里町放課後子ども教室「のびっ子教室」

		応援団での活用	○
分類	ものづくり	所要時間	60分
名称	水鉄砲	所要人数	12名
活動場所等	空き教室(図工室)		
おすすめポイント	夏の遊び		
準備する物	竹2種(真竹、シノ竹)、ノコギリ、きり、小刀、ハサミ、ウレタンスポンジ、布きれ、紙ヤスリ、タコ糸、マスキングテープ		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>竹の用意:限られた時間内での製作の為、予め地域内の協力者をお願いをし用意しておく。  竹の製材:真竹 直径5cm~6cm、長さ25cm~30cm  シノ竹 直径1.5cm~1.8cm、長さ30cm~35cm</p> <p>水鉄砲の作成</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 竹の切断面を紙ヤスリで整える。</li> <li>2 シノ竹にウレタンスポンジ、次に布を巻く。つなぎにマスキングテープ使用。</li> <li>3 タコ糸で布の上より強く巻き結ぶ。</li> <li>4 真竹の先端の節の中心にキリで穴を開ける。 (3ミリぐらいが丁度良い。)</li> </ol> <p>遊び方</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 4人1組になり、バケツに水を用意。</li> <li>2 柵の上に空き缶を並べ打ち落とす。</li> </ol>			
<p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 限られた時間(60分)のため、竹の切り出し、寸法切り等は前もって準備。</li> <li>○ ノコギリ、キリ等の扱いは応援団にしてもらう。</li> <li>○ シノ竹にスポンジ、布まきは子供たちには難しく応援団にお願い。  なお、タコ糸まきではピストン動作中、抜けてしまい針金で補修する。</li> </ul>			
<p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 紙ヤスリ掛けは簡単だったけど、スポンジ、布まき、糸巻きは難しくできなかった。</li> <li>○ 暑い日だったので、水のかけあいが楽しかった。</li> </ul>			
教室名	久喜市放課後子ども教室「おばやしゆうゆうプラザ」		



		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	90分
名称	割り箸鉄砲を作ろう	所要人数	20人～30人
活動場所等	図書室		
おすすめポイント	割り箸と輪ゴムだけで楽しい遊具が作れます。		
準備する物	割り箸、輪ゴム、画用紙(的)、はさみ		

◆内容(作り方、遊び方等)

割り箸鉄砲作り

① 割り箸を必要な大きさに切る。

長いままの割り箸 3本

2/3に切った割り箸 2本

1/3の割り箸 1本

② 長い割り箸1本の先に切り込みを入れて、真ん中にはさみ輪ゴムで止める。

③ 真ん中の割り箸を引き伸ばす。

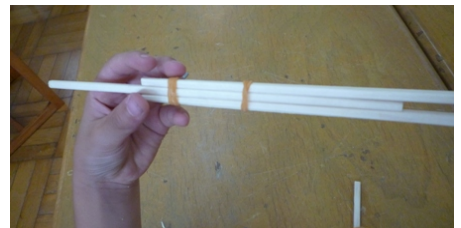
④ 2/3の割り箸を持ち手に組んで輪ゴムで止める。

⑤ ゴムをかける部品をつける。(1/3のもの)

⑥ できあがり。



①



②



③



④



⑤



⑥

的あてゲーム

① 画用紙に得点を書いて並べる。

② 学年ごとに立ち位置を決め、当てっこをする。

③ 倒したカードの合計点で順位を競う。



<参考> 的づくり

(東松山市放課後子ども教室の取組)



- ・好きな絵を描かせ、中心辺りに○を書き、得点を書かせる。(1～10点まで、5点、10点おきも可)
- ・幅、長さは、適当に変えても可。

◆工夫したところ

① 真ん中のつきたした割り箸の先に切り込みを入れ、輪ゴムが掛かりやすくした。

② 3連発や5連発もできる方法を伝え興味を高めた。

◆児童等の感想

① 的に当たるとよい音がして、楽しかった。

② 輪ゴムを巻くのがむずかしかった。

教室名 横瀬町放課後子ども教室

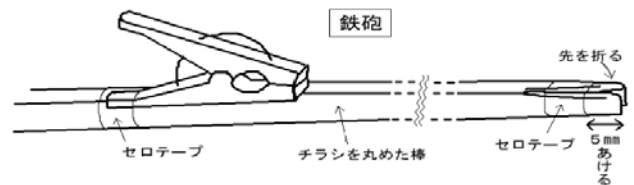
		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	45分
名称	洗濯ばさみ鉄砲	所要人数	何人でも可
活動場所等	教室		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作りやすい。</li> <li>・ 子どもたちに人気</li> </ul>		
準備する物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 折り込み広告(B4程度、2枚)…あまり軟らかいものはダメ</li> <li>・ 洗濯ばさみ(2個)…先端が丸くないもの</li> <li>・ 画用紙(5cm×6cm、1枚)、輪ゴム、ティッシュ、セロテープ</li> <li>・ 油性ペン(各色)、はさみ</li> </ul>		

◆内容(作り方、遊び方等)

◆ 作り方

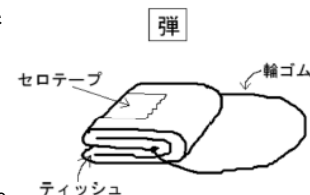
[鉄砲を作る]

- ① 折り込み広告を、角から斜めに巻いて、棒を作る。細く巻くように注意し、固めの棒にする。
- ② 片方の先端を3cmくらい折り曲げ、セロテープでとめる。同じものをもう1本作る。
- ③ 2本の棒を、折り曲げた側を内側にして重ね、セロテープでとめる。その際、先端より5mmくらい下げた位置にセロテープを巻く。(輪ゴムを引っかけるすき間を作るため)その他の位置2～3カ所にもセロテープを巻き、2本を一体化にする。
- ④ 先端から20cmぐらいのところを、洗濯ばさみの金の輪をはさむようにして、セロテープでとめる。この位置は、輪ゴムの伸び具合によって調節する。



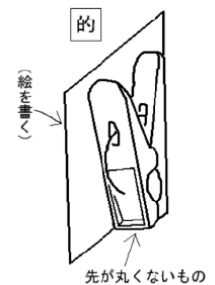
[弾を作る]

- ⑤ ティッシュペーパーを広げた状態から、縦3つ折りにし、さらに2つ折りする。次に横に4つ折りにする。
- ⑥ ティッシュの真ん中に輪ゴムを掛けてさらに2つ折りにし、セロテープでとめる。



[的を作る]

- ⑦ 画用紙の6cmがたてになるようにして、的になるための好きな絵を描く。
- ⑧ セロテープを丸めたもの(両面テープ状態)を作り、洗濯ばさみの回転の中心部分に貼り、その上に絵を描いた画用紙を押つけて貼り付ける。その際、洗濯ばさみの先端が下になるようにし、画用紙の底辺と洗濯ばさみの先端が同じ位置にくるように貼る。(両方を机の上に立てて、スライドさせながら合体させるとうまくいく)



◆ 遊び方

- ① 鉄砲の洗濯ばさみに、ティッシュペーパーをはさむ。
- ② 輪ゴムを伸ばし、先端の2本の棒の間に引っかける。
- ③ 適当な距離に置いた「的」にねらいをつけて、洗濯ばさみを開くと、ティッシュの弾が飛んでいく。

出典: ホームページ「手作りおもちゃ～100円で作ろう」より

<http://www.aioi-care.net/6/28/000037.php>



◆ 児童等の感想

- 固めの棒を作るのは難しかったが、的に当たるのは楽しかった。
- 弾がティッシュペーパーなので安心して遊べた。

教室名 北本市放課後子ども教室

		応援団での活用	○
分類	ものづくり	所要時間	120分
名称	竹を伐って竹ポックリを作ろう	所要人数	20人～40人 1グループ5～6人
活動場所等	竹林等		
おすすめポイント	①実際に竹林の竹を伐り倒すダイナミックな体験が出来る ②結構太い竹を切るので達成感が味わえる ③少なくとも1人が3回以上切るので鋸の使い方を十分に体験できる ④共同作業が多くコミュニケーションが図れる。		
準備する物	竹伐りノコギリ、ビニール撚り紐(4mm) 3.5m/人 ワイヤレス電動ドリル&木工錐6mm1台		

◆内容(作り方、遊び方等)

1. 竹の伐り出し

- 1) ポックリを作れそうな太さの竹を選ぶ。
- 2) 切った時に倒れる方向(竹の上の方が曲がっている方向)を確認する。
- 3) 倒れる方向の根元を水平に直径の1/3くらい切り込む(受け口)。
- 4) 反対側の、受け口の上2cmくらいを水平に切り込み(追い口)  
竹が倒れる様子確かめながら鋸をゆっくり引いていく。
- 5) 竹が倒れ始めたら切るのを止めて鋸を竹から引きぬいて離れる。
- 6) 倒れた竹の枝払いをして竹林から運び出す。



2. ポックリ作り

- 1) 竹の節から2cmくらいの位置にしるしを付けて切り落とす。
- 2) 最初に切り落とした切り口から10cmの位置にしるしを付けて切り落とす。
- 3) 1)、2)をもう一度くりかえし2つのポックリを伐り出す。
- 4) 穴を開ける4か所の位置に鋸でしるしを付ける。
- 5) 穴を開け、紐を通す。
- 6) 穴に通した紐を持ってポックリに乗り、持ち易い位置を確かめ紐の長さを調整してしっかり結ぶ。
- 7) ポックリの側面に名前を書いたり、絵や模様を描いたりしてマイポックリが完成
- 8) ポックリに乗って歩いてみる。



◆工夫したところ

- 1) 2つのポックリを伐り出す時に、鋸の切り込む方向が竹の軸方向に直角になるように鋸を慎重に伐り込むところ。曲がって伐り込むと修正が出来ない。
- 2) 鋸を使う時に、少し下に押しつけるようにして、ゆっくり出来るだけ長い距離を引くようにすると無駄な力を使わなくて、よく切れることを経験してもらおう。



◆児童等の感想

- 1) 竹を切り倒すのがドキドキした。
- 2) 竹を運ぶ時すごく重くて大変だった。
- 3) ポックリを切るとき腕が疲れて大変だった、途中大人の人に手伝ってもらった。
- 4) 最初うまく乗れなかったけど、練習して乗れるようになってうれしかった。

教室名 新座市 新座っ子ばわーあっぷくらぶ「森の子クラブ」

		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	30分～40分
名称	手づくりジグソーパズル	所要人数	10人～20人
活動場所等	教室		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市販していないオリジナルのパズルなので飽きがこない。</li> <li>・ メインの活動が予定より早く終わってしまった時などにも楽しめる。</li> </ul>		
準備する物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使い終わったカレンダーの絵・広告チラシ・写真等。</li> <li>・ はさみ・のり・厚紙・鉛筆・名前ペン・パーツを入れる袋。</li> </ul>		
◆内容(作り方、遊び方等)			
◆ 作り方			
<ol style="list-style-type: none"> <li>① 自分の家にあるカレンダーの絵・新聞広告チラシ(量販店・車・家等)・写真(花・風景等)を持ち寄る。 (大きさはB5～A3)</li> <li>② 持ってきた物が薄い紙の場合は、裏側全体に厚紙を貼る。</li> <li>③ 厚紙の方(裏側)に鉛筆(名前ペン)で線(直線や曲線)を引きパーツを作る。</li> <li>④ 作ったパーツ全部に同じ番号を書かせる。(この時は何番を書くか事前に知らせておき、ダブらないようにする。)</li> <li>⑤ 線の上を丁寧に切り取り、パーツと同じ番号を書いた袋の中に入れて保存する。</li> </ol>			
◆ 遊び方			
<ol style="list-style-type: none"> <li>① 個人または、グループ(2～4人)をつくり、机の上で行なう。</li> <li>② 友だちが作ったパズルと交換してやるのも楽しい。</li> <li>③ 完成した順に名前を記録しておき、全員が終了後にがんばり賞(しおり等)与えると夢中でやり盛り上がる。</li> <li>④ 宿題等のメインの活動が早く終わってしまった時など、やらせておくと他の児童の迷惑にならない。</li> </ol>			
カレンダーの絵		がんばり賞のしおり	
◆工夫したところ			
<ol style="list-style-type: none"> <li>① 家から持ってきた新聞広告のチラシ等薄くて破け易い物は、鉛筆でパーツを作る段階で厚紙(工作用紙等)に貼ると遊ぶとききれいにできる。</li> <li>② 遊ぶ学年にもよるが小学校低学年の場合は、パーツの数を多くしないほうがよい。 (時間がかかって途中で投げ出してしまう。)</li> <li>③ 作った作品のパーツの裏側に①～等それぞれに番号を付けておくと床に落ちた時や友だちのと混ざってしまった時などすぐに見つかる。</li> </ol>			
◆児童等の感想			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 最初に何ができるのか知らされてなかったので完成するまで楽しみだった。</li> <li>○ 自分たちで作ったものなので完成するまで夢中でできた。</li> </ul>			
教室名	北本市放課後子ども教室		

分類	ものづくり	所要時間	20分
名称	牛乳パックのへび	所要人数	1人
活動場所等	教室等		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 簡単にできます。</li> <li>・ 飛ぶ姿を見ると大変喜びます。</li> </ul>		
準備する物	1リットルの牛乳パック1個、はさみ、マジック、輪ゴム、セロテープ、折り紙、のり		

◆内容(作り方・遊び方等)

- ① 牛乳パックに4等分になるよう印をつける。
- ② 牛乳パックの底と上の部分を切り落とす。
- ③ 線を付けたところをはさみで切り、4つに分ける。
- ④ 切ったものを折りたたみ、上下に5mmほどの切り込みを入れる。
- ⑤ 切り込みに輪ゴムをかける。
- ⑥ 切り込んでいないところをセロテープで止める。(表と裏)
- ⑦ 一番はじめのところに目や舌をつける。



これで完成。



◆作るときの注意点

- ① 切り込みはあまり深くしすぎないようにする。
- ② つなぐセロテープは裏表しっかり貼る。

◆遊び方

- ① 輪ゴムがのびるように折りたたむ。
- ② 手を離すと飛び上がる。



◆応用

- ① 切った部分をつなげないで、箱などに入れ、びっくり箱にして遊ぶ。
- ② 牛乳パックをもっとたくさんつなげ、長いへびをつくる。

◆工夫したところ

- ① 1Lの牛乳パックではなく、学校給食の牛乳パック200mlでもつくる事が出来た。
- ② へびを完成した子には、びっくり箱をつくるようにした。  
開けたとたんにたくさんの箱が飛び出し楽しそうに遊んでいた。

◆児童等の感想

- ① 牛乳パックをきれいに切るのが大変だったけど、飛び上がったときはうれしかった。
- ② びっくり箱も作ることができてよかった。

教室名	小鹿野町立両神小学校いきいき教室		
-----	------------------	--	--

分類	ものづくり	所要時間	40分～60分
名称	カラフル変形コマ	所要人数	1人単位で20人程度
活動場所等	教室・図工室 等		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 色画用紙の切れ端で作れる。</li> <li>・ いろいろな形に変形することができる。</li> <li>・ 回っている姿がきれい。</li> </ul>		
準備する物	・色ちがいの色画用紙6～8枚    ・カッター    ・はさみ    ・木工用ボンド    ・楊枝		

◆内容(作り方、遊び方等)

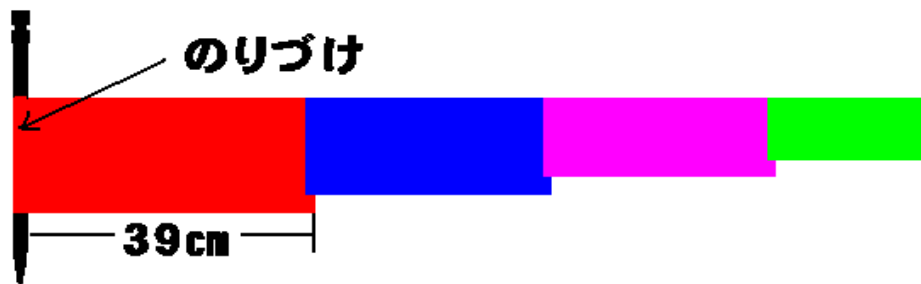
1 準備

- ・ 2.5mmずつ幅の狭い色違いの画用紙を用意し、段をつけながらつなげていく。  
(※ 例・・2.5mm 2.25mm 2.0mm 1.75mm 1.5mm 1.25mm 1.0mm 0.75mm 0.5mm)
- ・ のりしろは3ミリ程度で、真っ直ぐになるようにつなげていく。  
(対象学年によっては、ここまでは事前に準備しておく必要がある。)
- ・ 長さ約39cm(色画用紙の横幅)の用紙を8枚つなげると、直径2.5cmのコマができる。



2 作り方

- ① 楊枝の上下を間違えないようにして、色画用紙の幅の広い方から巻き付けていく。ボンドは始めと終わりの2カ所だけに付ける。
- ② なるべく色画用紙をギッシリと強く巻いていく。この作業がいい加減になってしまうと、出来上がったコマの中心がとれなく、回りにくくなったり、コマがほどけやすくなってしまう。
- ③ カッターで軸の下になる部分を適当な長さに切る。



3 遊び方

- ① 回し方の練習をする。
- ② 友だちと“コマ回し競争”をして遊ぶ。
- ③ コマを変形させて、回り方の違いや色具合を楽しむ。



↑ 1つのコマがこのように変身します

◆工夫したところ

- 学校では、色画用紙の切れ端がたくさんあり、それらを材料として再利用できる。
- 1つのコマが、いろいろな形に変身し、回り方がきれいなので心が観えて癒される。

◆児童等の感想

巻き方が、難しかったけれど、きれいに回るコマが作れてうれしかった。

教室名	小鹿野町立長若小学校子どもいきいき教室
-----	---------------------



		応援団での活用	○
分類	ものづくり	所要時間	30分
名称	8の字かざぐるま	所要人数	20人
活動場所等	教室		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 短時間でできあがる。</li> <li>・ 円を書く勉強になる。</li> </ul>		
準備する物	画用紙、鉛筆、はさみ、定規、コンパス、のり、ようじ、ストロー		
◆内容(作り方、遊び方等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 画用紙に半径7.5cm、半径4cmのドーナツ型の円を二つ書き、はさみで切る。</li> </ul> <div data-bbox="336 498 1307 959" data-label="Image"> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 円に切り込みを入れてのり ○、のり ▲に合わせてはり合わせる。</li> <li>・ のりしろ部分4枚を同時につまようじでとめる。</li> <li>・ つまようじをストローにさし、完成。</li> </ul>		
◆工夫したところ	コンパスを画用紙で作成した。		
教室名	深谷市 明戸小がんばル～ム		


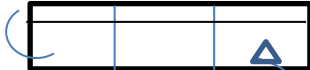
		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	10分
名称	釣堀	所要人数	1人～
活動場所等	空き教室等		
おすすめポイント	短時間でどこでも学年に関係なく楽しめる。		
準備する物	折り紙・ストロー・画用紙半分(青)・キッチンペーパー		
◆内容(作り方、遊び方等)	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 画用紙半分の左右上下を1cm立てて水槽とする。</li> <li>② 折り紙を8等分に切る。</li> <li>③ その後部に切り込みを入れて重ね合わせて魚とする。</li> <li>④ 魚を水槽に入れる。</li> <li>⑤ キッチンペーパーにストローをこすり付けて、静電気を起こして魚を釣り上げよう。</li> </ol>		
◆工夫したところ	静電気を起こすこと。		
◆児童等の感想	楽しかった。(低学年に好評)		
教室名	富士見市地域子ども教室「みずほ台わくわくエリア」		


		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	45分
名称	紙皿づくりと皿回し大会	所要人数	40～50人程度(1グループ5～6人)
活動場所等	多目的教室		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 紙皿づくりは短時間で出来ます。</li> <li>・ 紙皿大会は、個人・グループでも楽しめます。</li> </ul>		
準備する物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 紙皿(2枚)・紙コップ(1個)・ボンド・ホッチキス・割り箸・はさみ・装飾用品(マジック、カラーテープ、色紙など)</li> </ul>		
◆内容(作り方、遊び方等)			
<p>&lt;紙皿作成&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 紙皿2枚を重ね、ホッチキスで周り6か所程度を留める。</li> <li>② 紙コップの底の部分5ミリくらいを切り、紙皿の中央にボンドで接着する(よく貼り付くまで待つ)。(安定するように、皿の裏側ではなく、表面に貼り、皿をひっくり返した状態で皿を回せるようにする)</li> <li>③ 個々で好きな材料を使って、装飾をする。</li> </ol> <p>※ 紙皿づくりは、15分くらいで出来上がります。接着だけでできれば、問題ありません。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>(準備するもの)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>( ①～② )</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>( ③ 装飾 )</p> </div> </div>			
<p>&lt;遊び方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 割り箸1本を紙皿中央の窪みに当てて、落とさないように、紙皿を回す。</li> <li>・ 皿や皿の飾りが自身や周りの児童に当たらないように、皿を回す際は、周りの人との距離をとり、注意する。</li> <li>・ 皿回し大会を行う場合 <ol style="list-style-type: none"> <li>① グループを5～6名で編成し、その中で誰が長く回せるかを競い合う。</li> <li>② 各チームの皿回し博士が代表として、他のチームと競い合い、皿回しの王様を決定する。</li> </ol> </li> </ul> <p>※ その他、一人ひとりに「アイデア賞」「ステキで賞」「よく回るで賞」等を出すと、大会が盛り上がります。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div>			
◆工夫したところ			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 紙皿づくりをする時は、紙コップの底を5ミリ分切りとり、ボンドで接着する作業はスタッフが事前に準備しておくことで時間短縮になります(瞬間接着剤を使うと2～3分で接着しますが、指がくっついてしまう恐れがあるので、スタッフの手伝いが必要です)。</li> <li>・ 個々の紙皿回しの練習時間を取り、その間に他学年での教え合いが始まり、皿回しを楽しんだ。</li> <li>・ 皿回し大会は、グループ内でも、全体でも、やり方次第で楽しめます。</li> </ul>			
◆児童等の感想			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 紙皿づくりは、紙コップの底をボンドで接着する作業は大変だったけど、飾りがついたらステキな皿になり、良かった。その後皿回しの練習をしたが、なかなか上手くできなかつたけど、1回できるとスイスイできて楽しくなった。</li> <li>・ 皿回し大会は、グループでも6人で自分の紙皿を見せ合いながら回し、賞もあったので、うんと楽しかった。</li> </ul>			
教室名	さいたま市 向小チャレンジスクール「ひまわりっ子わくわく教室」		

		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	5分以上(何分でも可能)
名称	ゆびあみ	所要人数	1人以上
活動場所等	図書館・空き教室		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男女とも楽しくできること。</li> <li>・ 目に見えて完成する楽しさがあること。</li> </ul>		
準備する物	毛糸		
◆内容(作り方、遊び方等)			
<ol style="list-style-type: none"> <li>① 毛糸の先端に輪を作り、親指に掛けておく。</li> <li>② 人指し指の前から、次の指の後、そして前、後と小指を回り、人指し指まで戻り、その糸を手の平の上に置き、人指し指から下の糸を指にかける。</li> <li>③ 小指で折り返し、手の平の上に糸を置き、小指から下の糸をかける。</li> <li>④ 終わりは先端の糸を指にかかっている輪に通し、指をはずし両端を引っ張って、出来上がり。</li> </ol> <p>※ 長さにより、マフラー・ヘアバンド・シュシュ等が作れる。</p>			
◆児童等の感想			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最後に大きなものができるのが楽しい。</li> <li>・ 作っていると夢中になる。</li> <li>・ 何ができるのかワクワクする。</li> </ul>			
教室名	富士見市地域子ども教室「ふじみ野遊びーズ」		

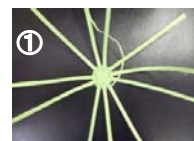
		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	60分
名称	エコバッグ作り	所要人数	～40人
活動場所等	教室等		
おすすめポイント	通学に使えるA4サイズのオリジナルバッグ作り。愛着のあるバッグが作れます。		
準備する物	無地のエコバッグ・布書き用クレヨン・布書き用ペン インクジェットアイロンプリントペーパー・アイロン		
◆内容(作り方、遊び方等)			
<p>■準備■</p> <p>アイロンプリントを使用する場合は、あらかじめインクジェットプリンターでイラストを印刷しておく。</p> <p>■作り方■</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 無地のバッグに好きな絵や文字を書く。</li> <li>② アイロンプリントを使用する場合は、好きな場所に仮置きする。</li> <li>③ 布書きクレヨン・アイロンペーパーの部分をアイロンで定着させる。</li> </ol>			
◆工夫したところ			
<ol style="list-style-type: none"> <li>① 布書き用クレヨン・ペンを使用することで、洗濯もでき、長く愛用できます。</li> <li>② 絵をかくのが苦手な子には、アイロンプリントをワンポイントに使用し、そこからイメージを広げていく。</li> </ol>			
◆児童等の感想			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界にひとつだけの、自分だけのバッグが出来上がった！！いろいろな色を使って、好きな絵を書けて楽しかった。</li> <li>・ 友達と同じ絵を書いて、お揃いのバッグを作った。音楽の教科書を入れて使いたいと思います。</li> </ul>			
教室名	杉戸町立杉戸第三小学校放課後子ども教室		



		応援団での活用	○
分類	ものづくり	所要時間	50分
名称	新聞でエコバックを作ろう	所要人数	何人でも可
活動場所等	教室		
おすすめポイント	手さげバックとして実用的で多目的に使えるバックです。強度もあるので収納にも使えます。新聞の柄を使う事でおしゃれなバックになります。		
準備する物	新聞紙1枚と半分、のり、はさみ、折り紙、ガムテープ(他リボンなど)		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>☆ 持ち手</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1枚分をはんぶんにしたものを縦半分に切り、切った2枚合わせてある方から3回折りながら、細長い持ち手を2本作る。最後にのりを付けて貼る。</li> <li>※ 初めに縦に3回折り、折スジを付けておくとらく。</li> </ul>  <p>☆ 本体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新聞を開き、日付の部分の余白を手前に折る。</li> <li>・ 手前に折った部分のをりで貼る。</li> <li>・ 細長くなった新聞紙を3つ折りにして、1/3の部分を重なった分だけ片側の袋状の中にしてしまう。</li> <li>・ 重なった部分が抜けないようにのりで貼る。</li> <li>・ 筒状になった新聞紙の底から5cm位折り上げる。</li> <li>・ 折り上げた部分を開きながら、両端を三角につぶしながら折る。</li> <li>・ 袋が抜けないうま折合わせる。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本体と持ち手を付ける(内側に)。</li> <li>・ 手さげの表側に折り紙、又はリボンで作った物を貼り、飾りにする。</li> </ul> <p>☆ 注意するところ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ のり付けするときは、新聞の端まで指できちんとのりを伸ばして付けると、仕上がりがキレイです。</li> <li>・ 時間が少ない時は、持ち手のみ事前に作っておくとよい。</li> <li>・ 季節により乾きにくそうなときは、持ち手は内側をガムテープで貼る。</li> </ul> <p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地味になりがちなので、新聞の柄をうまく取り入れたり、折り紙の作品などを貼りつける。</li> <li>・ 飾りとして、ポケットを付けた。</li> <li>・ 底の内側は、ガムテープで補強すると、重い物も入れることができる。</li> </ul> <p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新聞を使って作ったから、お母さんが喜んでくれた。</li> <li>・ 新聞でおしゃれなバックができて良かった。</li> <li>・ 新聞のカラー広告をうまく使うときれい。柄をうまく出すのが難しかった。</li> </ul>			
教室名	東松山市放課後子ども教室「パステルKids」		

		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	60分
名称	新聞紙で作る手さげバッグ	所要人数	30～40人(1グループ4人程度)
活動場所等	空き教室等		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家にある新聞紙が ビックリ大変身!! 家族で楽しめます。</li> <li>・ 失敗しても何回でもチャレンジできます。</li> </ul>		
準備する物	新聞紙、ボンド、はさみ、ものさし		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>新聞紙で作る手さげバッグの作り方</p> <p>&lt;バッグの本体をつくります&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 新聞紙(見開き)を広げて上の部分を3cm位折ります。(のりしろ)</li> <li>② 新聞紙の下の部分を持ち上げてのりしろに貼ります(タテ25cm、ヨコ80cmの輪状になります)。</li> <li>③ 輪状を平らにして右側を20cm折り、左側を右の20cmの中いっばいに差し込みます(約30cmの筒状になります)</li> </ol> <p>&lt;底の部分をつくります&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>④ 筒状になったものを平らにして、下の部分を10cm折り上げます。</li> <li>⑤ 折ったところを戻して(立てて)開き、両側を内側へ三角に折ります(変形の6角形になります)。</li> <li>⑥ 6角形の下を7cm、上から7cm折り重ね、のりで貼ります(底の部分なのでしっかり貼ります)。</li> </ol> <p>&lt;持ち手をつくります&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>⑦ 新聞紙を4分の1の大きさに切ります。(2枚)</li> <li>⑧ さい箸のようなものを使って対角線上に巻き込みます。</li> <li>⑨ 半分に折って20cmの長さにそろえます。(2本つくります)</li> <li>⑩ 袋の内側に持ち手を貼ります。</li> <li>⑪ 貼った持ち手の上から、補強のあて紙を貼ります(両側、タテ10cm、ヨコ20cm)。</li> <li>⑫ バッグを広げ、まちの部分など修正を加えます。 → 完成です。</li> </ol> <p>* 気に入ったデザインや模様の包装紙などを切って貼ると、より楽しめます。</p>			
			
<p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 好きなデザインや色模様の新聞があったらとっておきましょう。</li> <li>・ 低学年の児童には、はさみが危険なのであらかじめ切ったものを用意しておきました。</li> <li>・ ちょっとした工夫でいろいろなものができます (チラシを巻いたり織ったりして小物づくり。トイレトペーパーの芯とチラシでつくる筆立て)。</li> </ul>			
<p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ しんぶんでバッグがつかれるとは思っていませんでした。こんどはおうちでつくりたいです。</li> <li>・ バッグはむずかしかったけれど役にたつと思うので、お母さんに教えてあげようかな?と思いました。</li> </ul>			
教室名	久喜市放課後子ども教室「栗くりゆうゆうプラザ」		

		応援団での活用	○
分類	ものづくり	所要時間	60分
名称	エコクラフトで編む『わこうっち』	所要人数	20名程度
活動場所等	空き教室等		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ どの学年でも作ることができる。(キットで調整がしやすい)</li> <li>・ オリジナルのかごが出来る。(編み方で多少大きさがかわる)</li> </ul>		
準備する物	クラフト材料、フェルト、はさみ、ボンド、色鉛筆、洗濯ばさみ		
◆内容(作り方、遊び方等)			
<b>I かごをつくる</b>			
① クラフトテープの中心をボンドでとめセットしてあるものを、底面から順に編んでいく。			
② まるみをつけながら、テープの残り1mくらいまでカップ状に編む。			
③ 5本を残し、ほかの6本を 外、内、交互に折り、中へさしこみ始末する。			
④ 残した5本を、残した1mのテープで 中央に寄せながら、折り返して編む。			
⑤ 5本をボンドでとめ、余分なテープをカットする。			
<b>II 顔(わこうっち)をつくる</b>			
⑥ いちょう形に切っておいた黄色のフェルトを I のかごにボンドで貼る。			
⑦ 顔(白いクラフトで輪郭をつくってある)に、目、鼻、口となるクラフトをボンドで貼り、色鉛筆でほお紅を書く。			
⑧ ⑦を I のかごに貼る。			
◆工夫したところ			
<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「わこうっち」は和光市イメージキャラクターであるため、目、鼻、など、あまりかけはなれたものにならないように、キットで用意した。</li> <li>* もとの本数(底面)を奇数本にして1本のテープでかごの仕上がりまで編み続けられるようにした。</li> <li>* 子どもたちが低学年だったり、開催時間が短いときは、作り方 II は、出来たものを配るように対応した。</li> <li>* 色を変えることで、ハロウィン(オレンジ)、いぬ(茶色)など様々なかごを作ることができる。</li> </ul>			
◆児童等の感想			
<ul style="list-style-type: none"> <li>* かわいく出来た。</li> <li>* 今度ははじめから作ってみたい。</li> <li>* また作って兄弟にプレゼントする。</li> </ul>			
教室名	和光市放課後子ども教室		



		応援団での活用	○
分類	ものづくり	所要時間	4回で1セット 1回約80分
名称	工作	所要人数	15名:対象全学年
活動場所等	図工室		
おすすめポイント	木工の基礎からはいり、出来るだけ個性ある作品作りを目指し、工作の楽しさを味わってもらうこと。		
準備する物	道具類(ノコギリ、ゲンノウ、カネジャク、ナイフ、ブルーガン)木工用ボンド、クギなどは、さくらっ子ゆうゆうプラザの備品を使用。材料費として300円徴収。端材などは、指導者負担。		
◆内容(作り方・遊び方等)			
1回目 9月10日(月)15時~16時20分 道具の使い方などの基礎講座			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平板(15mmX40mmX1000mm)に200mmごとにカネジャクを使って線を引き、ノコギリで5片に切る。この時、ノコギリの刃の立ち方の違い(たて引き・よこ引き)や、正しいひき方を教える。</li> <li>○ 200mm4片を組んで四角を作りクギを8本打つ。この時ゲンノウの頭は片方が平らでもう一方が丸味を持っていて使い方の違いや真上から頭の重みでたたくと曲がったりしないので打つことができる。</li> </ul>			
* 素直に聞いてくれる生徒ほど上達は速い。			
2回目 9月24日(月)15時~16時20分 レター差し			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 用意しておいたシナベニヤ200mmX400mmを400mmの方を300mmと100mmに切る。</li> <li>○ 角材(24mmX24mmX350mm)の350mmの方を100mmX2片と150mmに切る。</li> <li>○ シナベニヤの両上部分を30mmずつ切ってサンドペーパーで丸味を持たせ、写真のように木工用ボンドで貼りつける。フック用の穴は、事前に空けておく。ボンドが乾けば、裏面よりクギ(18mm)を6本打つ。</li> <li>○ 時間があれば、シールを張ったり、色鉛筆で絵を描きます。</li> </ul>			
* クギ打ちは小さいので指をたたいたり、ノコギリで指をひっかけてベソをかく生徒がいますが、バンソコウくらいの対応で、同じことを繰り返さないよう注意して続けています。			
3回目 10月15日(月)15時~16時20分 表札			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ シナベニヤ(200mmX200mm)に、角材(14mmX14mmX740mm)を185mmX4片に切り枠としてボンドで貼りつける。ボンドが乾けば、クギ(18mm)を8本打つ。</li> <li>○ 平板(14mmX40mmX約180mm)にデザインを施した名前を書き入れ好きな位置にボンドで貼付けます。</li> <li>○ 空いている空間に木で作った動物や貝殻やどんぐりなど自然の贈り物をブルーガンで貼付けます。</li> <li>○ 出来上がれば、ヒートン2個と麻紐か毛糸で壁掛けになるようにして完成です。</li> </ul>			
* 名入れや貼りつける材料と数で生徒の個性がよく現れます。			
4回目 10月22日(月)15時~16時20分 自由工作			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ シナベニヤ(200mmX300mm)の台に大きさまざまな端材を用意しておき、自分で切ったりサポーターに切ってもらったり、どんぐり類、松ぼっくり類、樺の実・殻、栃の実、コルク、貝殻なども使って作品を作ります。</li> <li>○ 自由な発想で作りますが、初めての生徒は取り掛かるまでに時間がかかりますので、早めのアドバイスが必要です。作品に名前をつけますが、「森の中の家」「自分だけの公園」「宇宙戦艦ヤマト」「ロケット」などそういうことを考えていたのかと、感心させられます。</li> </ul>			
* 今までの体験では、①人のまねをしがち、②何を作ればいいのかわからない、③めずらしい材料ばかりを集めるなど…時間の関係上、早めにサポーターのアドバイスが必要です。			
◆工夫したところ			
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 木工の場合は、必ず道具の正しい使い方からはいります。基礎講座は、低学年の場合は、薄い板ですが高学年の場合は作品が大きくなるので材料に合わせて厚い板を用意します。</li> <li>◇ 高学年対象の椅子などに挑戦して、作品の出来栄え、仲間への配慮など素晴らしいと判断した場合、工作名人の称号を渡しています。(過去6年間で6名だけです。)</li> <li>◇ サポーターは7名で、基礎講座や大きな作品の時には、多く集まっていたいただき心強いです。</li> </ul>			
◆児童等の感想			
最初むずかしかかったけど、がんばってできたので、うれしいです。大切に使っています。(2年女子)			
教室名	久喜市放課後子ども教室「さくらっ子ゆうゆうプラザ」		

		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	60分
名称	スチロール工作	所要人数	特になし
活動場所等	室内		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工作を通して、ご当地キャラに愛着を持ってもらえます。</li> <li>・ 学年(年齢)に関係なく楽しむことができます。</li> </ul>		
準備する物	型紙、はさみ、のり、発泡スチロール、カッター、マジック、ボンド、木片等の台になるもの		

◆内容(作り方、遊び方等)

(作り方)

- ① 型紙を用意する。(手書きでもプリントしたものでOK)
- ② 型紙の余白を切り取る。
- ③ 型紙をスチロールの上に、貼り付ける。
- ④ 電熱線カッター等で型通りに切っていく。
- ⑤ 色塗りをする。
- ⑥ 木片等の台に乗せ、ボンドで貼り付ければ完成。

◆工夫したところ

- 子どもにも簡単にできるよう、電熱線カッターをボランティアの方に作製していただきました。
- 上里町のマスコットキャラクター「こむぎっち」に愛着をもってもらえるよう、印刷したものを使用して作りました。また、サンタクロースや干支等のデザインを使用し、その季節感にあったものを作りました。

電熱線カッターで、型紙を貼ったスチロールをカットする

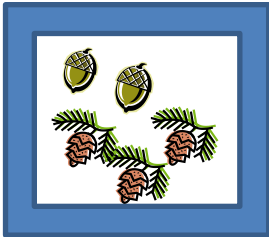



色塗りをしたら完成



教室名 上里町放課後子ども教室「のびっ子教室」



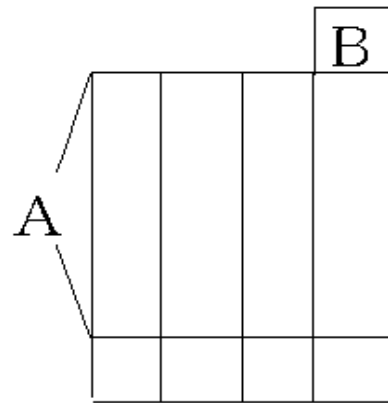
		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	90分(2日間で)
名称	壁掛け(オブジェ)	所要人数	20人(1グループ5人)
活動場所等	教室		
おすすめポイント	自然の物(木の実など)で、子どものアート感覚で飾り物が作れる。 リサイクルできる物(古切手など)で、飾り物ができる。		
準備する物	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベニヤ板、コルク栓、ヒモ、ボンド、色々な大きさや形の松ぼっくり、どんぐり、コーヒー豆、落ち葉 など</li> <li>紙皿、ひも、ボンド、絵の具(黒)、古切手</li> </ul>		
◆内容(作り方、遊び方等)			
☆ 壁掛け1	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベニヤ板を茶色に塗装し、コルク栓を縦半分に切り、板の淵に沿って貼り付け、額を作る。額の角に2つ穴をあけ、ひもを通す。後でつるして壁掛けとなる。</li> <li>上下の位置を確認し、松ぼっくりなどの素材を額の上に自由に並べ一つ一つボンドで貼りつける。</li> <li>貼りつける素材の数や向き、並べ方等は、本人の自由、個々のセンスに任せる。</li> <li>ボンドが乾き作品の素材が落ちないようにするまで、約1週間上向きにして置いておく。</li> <li>壁に飾る。</li> </ul>		
☆ 壁掛け2	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙皿を2枚重ねて(貼り合わせて)丈夫にして、黒い塗装を施す。</li> <li>紙皿の端の方に2つ穴をあけ、ひもを通す(後でつるす)</li> <li>使用済み切手を紙皿の上に自由に並べて、1枚ずつ貼る。</li> <li>色、柄、大きさの違う切手を、それぞれ、向き、枚数、デザイン等、自由にボンドで貼っていく。</li> <li>乾くまで上向きに置く、後で壁に飾る。</li> </ul>		
 			
◆工夫したところ			
<ul style="list-style-type: none"> <li>ボンドの付け方によっては、素材がすぐ落ちてしまうので、ボンドは多めに使用する。</li> <li>本人のセンスに任せる。</li> <li>素材選びは、ある程度平等に行きわたるように配慮した。</li> </ul>			
◆児童等の感想			
<ul style="list-style-type: none"> <li>自由に作れて楽しかった。</li> <li>完成して飾付けができて、良かった。</li> </ul>			
教室名	東松山市放課後子ども教室「わくわくbluebird」		

分類	ものづくり	所要時間	60分
名称	牛乳パックキュービック	所要人数	30人程度
活動場所等	空き教室(図工室)等		
おすすめポイント	小学校低学年でも楽しく作れる。費用がかからない。		
準備する物	牛乳パック、油性マジック、はさみ、セロテープ		

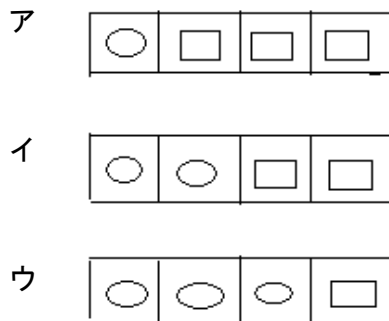
◆内容(作り方、遊び方等)

(キュービック作成)

- ① 牛乳パックを開く。
- ② Aの部分を横に3等分に切る。→6.5cm



- ③ パーツに絵を描く。



2種類の絵を図のように描く



【見本】

- ④ ア、イ、ウの順にテープでつなぐ。  
※ イを真ん中にアとウを両はしにつける。



【つなげたところ】



【完成したキュービック】



◆工夫したところ

- ・ 牛乳パックは、事前に準備しておく。
- ・ 絵を間違った場所に描く子がいるので、牛乳パックは余分に用意する。

◆児童等の感想

- ・ 2つの絵をパックにかくのが楽しかった。
- ・ 作ったあと、キュービックの絵をそろえるのがむずかしかった。
- ・ ともだちと交換して遊んで楽しかった。

教室名	行田市北小わくわくクラブ
-----	--------------

		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	60分
名称	折込チラシでつくる蝶のかざり	所要人数	30～40人(1グループ4人程度)
活動場所等	空き教室等		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家にあるチラシ、包装紙が ビックリ大変身!! 家族で楽しめます。</li> <li>・ 失敗しても何回でもチャレンジできます。</li> </ul>		
準備する物	折込チラシ、ワイヤー入りビニールひも、枯れ枝、はさみ		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>チラシでつくる蝶のかざりの作り方</p> <p>(上の羽、下の羽、角(触角)の3点をつくります。)</p> <p>&lt;上の羽をつくります&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① チラシを8cmの正方形に切ります。</li> <li>② 三角形に折ります。</li> <li>③ 広げて中心から上・下それぞれ5mm位のアコーディオン折りにします(10cm位の棒状になります。)</li> </ol> <p>&lt;下の羽をつくります&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>④ チラシを8cmの正方形に切ります。</li> <li>⑤ 正方形を四つ折りにします。(4分の1の大きさ)</li> <li>⑥ 右上をカーブ(丸み)をつけて切ります。(切り方はあまりこだわりません)</li> <li>⑦ 広げて中心から上下それぞれ5mm位のアコーディオン折りにします。(③よりも短くなるように)</li> </ol> <p>&lt;角(触角)をつくります&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>⑧ 細長い長形状に切ります。(幅5mm、長さ8cm位)</li> <li>⑨ 指でこすって角らしさをだします。</li> </ol> <p>&lt;仕上げの作業です&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>⑩ 一番上が角・次に上の羽・下の羽・の順に重ね、半分に折って紐で止め、さらにねじって止めます。 → 完成です。</li> </ol>			
			
<p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 好きなデザインや色模様の包装紙があったらとっておきましょう。</li> <li>・ 低学年の児童には、はさみが危険なのであらかじめ切ったものを用意しておきました。</li> <li>・ ちょっとした工夫でいろいろなものができます (チラシを巻いたり織ったりして小物づくり。トイレトペーパーの芯とチラシでつくる筆立て)。</li> </ul>			
<p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ チラシで蝶のかざりがつくれて楽しかったです。</li> <li>・ 何回もやり直しができてよかったです。</li> </ul>			
教室名	久喜市放課後子ども教室「栗くりゆうゆうプラザ」		

		応援団での活用	○
分類	ものづくり	所要時間	120分
名称	世界で一匹オリジナル タオルで作る犬のぬいぐるみ人形	所要人数	何名でも可能、人数に応じて準備します。
活動場所等	空き教室等		
おすすめポイント	学年(年齢)に関係なく楽しめます。		
準備する物	浴用タオル、フェルト又は布地、リボン、目玉シート、はさみ、ボンド		

◆内容(作り方、遊び方等)



① 端を左右から中心に合わせて折る。



② 合わせ目をテープで止めておくとずれません。



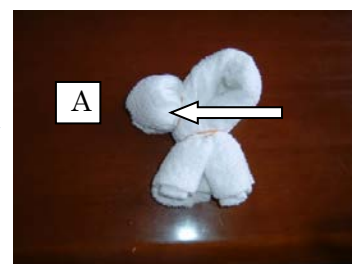
③ 左右から中心に向かって強く巻いていきます。



④ 巻き終わったら巻いた側が外側になるよう半分に折ります。(写真は内側になっています。)



⑤ 下から3分の1ところを糸でしばります。輪ゴムで仮止めをしておくとやりやすいです。



⑥ Aの部分の約半分を前方につまみ出し、付け根を輪ゴムでしっかりしばります。



⑦ 形を整えたらフェルトで目、耳、鼻、口、リボン等を作りボンドで接着



完成

◆工夫したところ

- ・ タオルの厚さ、薄さがあるので、タオルに応じた巻き方を工夫してほしい。(粘着テープの利用は、うまくいかないときに利用してほしい。)
- ・ 薄いタオルの場合は三つ折りにして横に巻いてみる。

◆児童等の感想

可愛い犬のぬいぐるみ、もう一匹お母さんと作りたい。

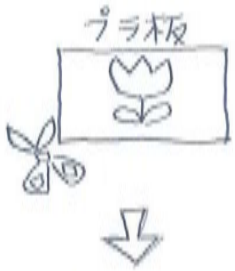
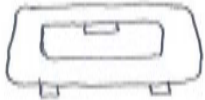
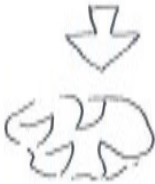

教室名	新座市 新座っ子ぱわーあつぶくらぶ「遊びのたからばこ」		
-----	-----------------------------	--	--

		応援団での活用	○
分類	ものづくり	所要時間	90分×12回
名称	折り紙教室	所要人数	23年度は36名(1名でも可)
活動場所等	空き教室等		
おすすめポイント	児童2～3人に対し、指導者が1人の割合で係われるので、細かい指導や児童の発想も大切にできる。折り紙で親子共通の話題ができる。		
準備する物	教育折り紙(15cm*15cm)、糊(ボンド)、はさみ、黒マジックペン、ボール箱(展示に使う、縦横30cm程、高さ7cm程) 作品を入れるファイルまたは箱		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>① 年間12回実施(年度当初、実施日等を知らせておく。)</p> <p>② 参加学年、人数:(1～6年生) 1年(男3・女8) 2年(男2・女5) 3年(男3・女6) 4年(男1・女4) 5年(男0・女2) 6年(男0・女2) 合計36名</p> <p>③ 各回ごとに折る作品名を設定(1回毎に2～3作品):難易度を考慮して。</p> <p>④ 作品の設定は行事、四季による風景の違い(足のある動物・花・魚・鳥・昆虫他)を考慮してきめていく。</p> <p>⑤ 年間の作品名(23年度) 1回①チューリップ②花立て台③富士山と山々 7回さるの親子・かに 2回ことり・家と教会・背の高い木・古い木 8回お月見うさぎ・クリスマスツリーの葉・幹 3回モーターボート・子ども・白鳥 9回ツリーの飾り・①ハート②キャンドル③靴下④サンタ 4回やっこさん・風ぐるま・だまし舟・紙ふうせん 10回プレゼントサンタさん 5回いぬの親子・しゅりけん 11回トナカイ・ソリ 6回ピョンピョンがえる・おたまじゃくし・魚 12回飾り付けの準備・不足の物を折り足す。</p> <p>⑥ 座机に2人程、ほぼ学年単位になるが自由な座席である。</p> <p>⑦ チューリップや花立て台の時に基本の折り方の1つ(山折り、谷折り)を折り図を見ながらゆっくり折る。</p> <p>⑧ ピョンピョンがえるは跳ぶ距離で競うので、作成後の児童の工夫や反省が見られて面白い。</p> <p>⑨ 年間30種類程の作品の中からいくつかを使って自分の好きな風景を表現していく。</p> <p>⑩ 表現方法は飛ぶもの、木に登るもの、浮かぶものもあるが、またボール箱(大地)の上に立体的に倒れないよう工夫することも大切だと三角の支柱(点)の作り方も教えている。</p> <p>⑪ 年1回奈良文化展(2月末)に1人1作品展示することをめやすに各自でつくりあげた作品の中から好きな風景を思い描き完成させていく。</p> <p>⑫ 奈良文化展後奈良小学校の廊下に2週間程度展示し全校児童の目に触れることも大変嬉しいようである。</p> <p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 何年も折り紙教室に入っている児童も5～6名はいるので学習済みの場合もあるが、各自折り紙の色、大きさ、ひと折の変化、また解らない所を優しく教えられる立場であってほしい旨注意深く指導している。</li> <li>◆ 急がば廻れ、いくつかの基本折り、ベース折り等はできるだけ個人指導する。</li> <li>◆ 三角柱(錐)などは倒れにくいことを活用して作品が立てられることもサンプルを配って実験する。</li> </ul> <p>◆児童等の感想</p> <p>感想を聞く時間がなかったので感じたことのおもなことを列記する。</p> <p>① 自分で折った作品が一番だという出来上がった時の笑顔が何ともいえない。</p> <p>② 折り紙の大好きな児童ばかり集まっているせいかみんな一生懸命。</p>			
教室名	熊谷市放課後子ども教室「奈良っ子ふれあいメイト」		



		応援団での活用	○
分類	ものづくり	所要時間	60分
名称	折り紙教室	所要人数	20人程度
活動場所等	空き教室		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 短時間でできる。</li> <li>・ いろいろな形のものをつくることできる。</li> </ul>		
準備する物	はさみ、のり（費用:30円）		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 指導する方が、みんなが何を作りたいかを聞いて作るものを決める。 （初回は、指導者が作るものを決める） ↓</li> <li>○ 指導を受けながら、作品を完成させる。</li> </ul> <p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 異年齢の子ども達が参加しているので、小さい子でも作れそうなものをセレクトした。</li> <li>○ 作品は文化祭等で展示できるようにした。(来年度以降の予定)</li> </ul> <p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 普段、折ることのないような物が折れてうれしかった。</li> <li>○ 折ったひこうきが遠くまで飛んでうれしかった。</li> </ul>			
教室名	幸手市放課後子ども教室		

		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	5分
名称	折り紙ブローチ	所要人数	1人～
活動場所等	空き教室等		
おすすめポイント	好きな折り紙で折った物をブローチにできる。		
準備する物	折り紙・安全ピン・リボン・ホチキス		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 折り紙を使って犬・猫・星・やっこさん等の完成品を作る。</li> <li>② リボンを好みの長さに切り、半分の所で折り返す。</li> <li>③ 折り紙完成品の背中側をホチキスで止める。</li> <li>④ リボンの折り返した間に安全ピンを通し、服に止める。</li> </ol> <p>◆工夫したところ</p> <p>動物に顔を描いたり星に線を引いたりしたこと。</p> <p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 色々なブローチができて楽しかった。</li> <li>・ たくさんできた。</li> </ul>			
教室名	富士見市地域子ども教室「みずほ台わくわくエリア」		

		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	10分
名称	プラ板	所要人数	1人～
活動場所等	小学校の空き教室		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下絵を描いて(写して)くるとアニメキャラクターなどが上手に描けること。</li> <li>・ 焼く時は電子レンジではなくトースターでやること。</li> </ul>		
準備する物	油性マジック・プラ板・パンチ		
◆内容(作り方、遊び方等)			
		<p>① プラ板に絵を描き、好きな形に切り取ってもよい。 ※ この時点でパンチで穴を開けておくと後でひもを通してキーホルダーの様にできます。</p>	
		<p>② トースターで焼く(900Wのものだと約50秒くらい) ※ 焼くのは電子レンジではなく、一気に温度が上がるトースターが良い。</p>	
		<p>最初のうちはクシャツとなりますが、待っていると戻ります。</p>	
		<p>③ できあがり。</p>	
◆工夫したところ			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵を描く前に見本を貼っておき、焼く前・焼いた後にどれだけ縮むかを見てもらい、絵は大きめに描いてもらうようにしました。</li> <li>・ 下絵を描いてきて写すとキャラクターのもの等、上手に描くことができます。</li> </ul>			
◆児童等の感想			
<p>自分のお気に入りの絵が描けてキーホルダーとして持てるのがうれしい。</p>			
教室名	富士見市地域子ども教室「レインボーキッズ針ヶ谷」		

		応援団での活用	○
分類	ものづくり	所要時間	30分
名称	プラ板アクセサリ	所要人数	何人でも
活動場所等	空き教室等		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 短時間でできます。</li> <li>・ 学年(年齢)に関係なく楽しめます。</li> </ul>		
準備する物	お弁当のふた、油性マジック、はさみ、穴開けパンチ、ひも(リリアン)、板、金属製のお菓子容器のふた、軍手、オーブントースター、アルミホイル		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>(作り方)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① お弁当のふた(『PS』や♻マークの入っているもの)に好きな絵を油性ペンで描いたり、写したりします。</li> <li>② 周りを好きな形に切り取ります。</li> <li>③ 穴開けパンチで、穴を開けます。</li> <li>④ オーブントースターの受け皿にアルミホイルを敷き、描いたプラ板を載せ、1～2分焼く。(熱を加えるとクネクネして、4分の1位に縮んで平になった時に取り出すめやす。)</li> <li>⑤ 板の上に置き温かいうちにお菓子容器のふたで軽く押さえる。</li> <li>⑥ ひもを通して、完成です。</li> </ol> <p>※ お弁当のふたは、きれいに洗い、貼ってあるシールなどもきれいにはがしておく。</p> <p>※ 絵を描くときは、黒でふちどり、裏から色を塗ると線が消えずにきれいにできる。</p>			
<p>◆工夫したところ</p> <p>お金をかけず、お弁当のふたをリサイクルしたところ。</p>			
<p>◆児童等の感想</p> <p>自分の名前をいれたり、家族の名まで作ったりと、喜んで何枚も作っていた。</p>			
教室名	ふじみ野市放課後子ども教室		



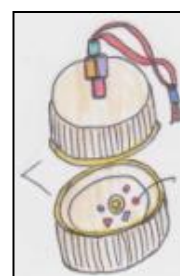
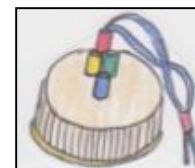
		応援団での活用	○
分類	ものづくり	所要時間	40分
名称	ペットボトルキャップの飾り付け	所要人数	5人～40人程度(1グループ5人前後)
活動場所等	テーブルを設置できる空き教室等		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小さなものを扱うので、指先が器用になります。</li> <li>・ 飾り付ける方法次第で、色々なものをつくることができます。</li> </ul>		
準備する物	ペットボトルキャップ(2個で1組)、接着剤(瞬間・普通)、楊枝、紐、紙、鈴、ビーズ、リボン、ペン		

◆内容(作り方、遊び方等)



- ① キャップの1つに紐を通す穴を開けます。(前準備となります。)  
 ※ 飾り方によっては、キャップとキャップの間に挟むように紐を使うことも可能です。  
 (下記応用編)

- ② 紐に穴よりも大きめのビーズを通し、抜けないように内側から外に出します。  
 ※ 紐が抜けないようにするためですから、ビーズでなく止め結びをしても大丈夫です。
- ③ 紐が出たところにもビーズを通すと、穴が見えなくなってよりかわいく仕上がります。
- ④ もう一つのキャップに鈴やビーズを入れ、瞬間接着剤で付けます。  
 ※ 瞬間接着剤は、子ども達には扱わせないでください。  
 ※ くつつくまで横にしないでください。
- ⑤ 着いたら、キャップの継ぎ目を隠すように紙を巻きます。  
 ※ 上からリボンを巻く時に付けやすく、補強にもなります。



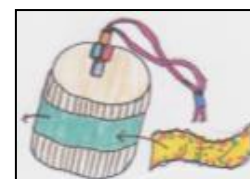
鈴・ビーズ  
など音が  
出るもの

つける

<仕上がり品>



⑤  
継ぎ目に紙



応用編:①の穴を開けずに挟んだときの作り方(※最後の側面縁どりにはビニールテープがベストです。)

- ① 30cmの紐を半分に折り、輪の方から7cmのところに結び目をつくる。
- ② 2本になった紐にビーズを通し、飾り棒(※1)を挟んで再びビーズを通す。
- ③ 鈴を通して結び目をつくる。
- ④ 飾り棒の接着部分は抜けないように、上から紐に接着剤をつける。
- ⑤ ③の結び目を中に挟み入れてキャップの縁を接着剤でつける。
- ⑥ 丸い部分には白い紙を貼り「川口初午太鼓」と書きました。
- ⑦ 側面には紙を貼りますが、最初の2cmまでは真ん中に切り目を入れて、紐の箇所を挟み込んで接着剤でつけます。
- ⑧ 最後は側面の縁どりに再び紙をまきつけ補強します。



(※1)飾り棒の作り方  
 竹ひごまたは楊枝に  
 白紙を巻き付け5mm幅  
 の赤い紐か、赤の色紙  
 をカットして斜めに巻い  
 ていきます。  
 それを、太鼓の幅より  
 少し小さめに切りました。

◆工夫したところ

- 普段なにげなく捨てていた紙や布や紐が、まだ使えることをわかってもらうようにした。
- ペットボトルキャップで、リサイクルする大切さをわかってもらうようにした。
- 紐を通す穴は、時間の都合上と危険度を考慮して事前準備としました。
- 飾り付けに使うリボンの一、二年生用には、事前準備しておきました。
- 川口初午太鼓は郷土の伝統文化を知ってもらいます。

◆児童等の感想

- かわいいからいっぱい作りたいです。
- お出かけ用のバッグにつけて、大切にします。
- これからは、何でも捨てないで使えるものはちゃんと使います。

教室名	川口市放課後子ども教室「戸塚南どれみふぁ広場」
-----	-------------------------

分類	ものづくり	所要時間	75分
名称	スイーツデコ教室	所要人数	20人
活動場所等	活動室		
おすすめポイント	食べちゃいたくなるデコスイーツストラップが作れます。		
準備する物	紙ネンド・ビーズ・シリコーン・ホイップの絞りだしロ・リボン・ゼリーカップ・お菓子の箱・ハサミ・のり		

◆内容(作り方、遊び方等)

- ① 挨拶
- ② 材料確認
- ③ 1テーブル5人ずつ座らせ紙粘土で作ったクッキー生地の片方に順番にホイップしてはさむ。  
クッキーサンド完成。
- ④ ゼリーカップに3色の粘土を1つずつ押し込み3色の層を作る。
- ⑤ ④の上にシリコーンをホイップする。
- ⑥ ⑤の上にビーズやトッピングの飾りをのせて乾かして出来上がり。
- ⑦ 持ち帰り用のお菓子の箱に入れてテーブルを片付ける。



◆工夫したところ

誰でも簡単にできるように前もって土台のクッキー生地とパイ生地、トッピングの飾りは作っておく。

◆児童等の感想

- ホイップが楽しかった。またやりたい。
- ホイップをしたり、飾りをのせたりケーキやさんになったみたいで楽しかった。

教室名	杉戸町立杉戸第二小学校放課後子ども教室		
-----	---------------------	--	--

		応援団での活用	
分類	ものづくり	所要時間	20～30分
名称	ビーズアクセサリー作り	所要人数	講師数に応じて
活動場所等	机を使用できる室内		
おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 女の子も男の子も夢中になります。</li> <li>・ 学年に係らず、児童同士が教えあう姿も見られます。</li> </ul>		
準備する物	ビーズ(数種類)・テグス(または糸)・ゴム・ハサミ		
<p>◆内容(作り方、遊び方等)</p> <p>大きめのカラフルビーズや小さな丸小ビーズをテグスに通したり、交差させたりしてヘアゴムやストラップ、ブレスレットを作ります。</p> <p>【ヘアゴム・ストラップ用 ビーズボール作り】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① テグスに好きな色のビーズを3粒通す。</li> <li>② 両側のテグスが交差するように、両側のテグスをまとめて1粒のビーズに通す。(ビーズは現在4粒目)</li> <li>③ 両側のテグスそれぞれに、1粒ずつビーズを通す。</li> <li>④ さらに、両側のテグスが交差するように、両側のテグスを1粒のビーズにまとめて通す(ビーズは現在7粒目)。</li> <li>⑤ ④をもう一度行う(ビーズは現在10粒目)</li> <li>⑥ 両側のテグスそれぞれに、1粒ずつビーズを通し、ビーズの列全体が1つの球体になるように折り丸めつつ、一番初めの先頭のビーズへ、右手にあるテグスのみ通す。</li> <li>⑦ 両側のテグスを固結びし、両側のテグスの余った部分は切る。片方のテグスを引っ張り、結び目をテグスの中に隠す。</li> <li>⑧ ビーズとビーズの隙間に、ゴムを通し、さらに大きめのビーズを通してから結ぶ。結び目を最後に通したビーズの中に通せば、ヘアゴムの完成。 (ゴムでなく、紐などを通して、ストラップにも出来ます。)</li> </ol> <p>※ 上記の要領で、ビーズボールやビーズをつなげたものを手首につけて、ブレスレットにすることも可能</p>			
			
<p>◆工夫したところ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男の子も楽しめるよう、青色や緑色などのビーズも用意し、ヘアゴム・ブレスレット以外にストラップも作れるように準備しました。</li> <li>・ 細かい作業なのでボランティアの人数を多めにし、ビーズをテグスに通す手順を用紙に書き、コピーして数箇所に見本と一緒に置いて、わかりやすくしました。</li> <li>・ テグスに自由にビーズを通すブレスレットに変更したり、と時間数や児童の好みに合わせた作品作りを行えます。</li> </ul>			
<p>◆児童等の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 可愛いアクセサリーができて嬉しい。また作りたい。</li> <li>・ 難しかったけど、隣の席の子やスタッフの人に教えてもらって、上手に作れた。</li> </ul>			
教室名	さいたま市 大谷口小学校「大谷口けやきっ子クラブ」		